

# 桜城橋完成・徳川四天王像披露式典



## 【本多忠勝像】●

1572年「一言坂の戦い」で、本多忠勝が殿を務めて追撃してくる武田軍を自慢の槍で食い止めた。その際に、敵軍武田軍から「家康に過ぎたるものが二つあり、唐の頭に本多平八」と言わしめた。忠勝が敵陣に攻め入り威嚇した馬上の勇姿を再現している。

## 【酒井忠次像】●

1572年「三方ヶ原の戦い」で、家康は隣国の武田信玄に大敗し、当時の本拠地・浜松城に逃げ帰った際に、城内が意気消沈する中、一計を案じた酒井忠次は全ての城門を開いてかがり火を焚き、櫓の上で太鼓を打ち鳴らす奇計で、難を逃れたという謂れのある「酒井の太鼓」を象徴する忠次が太鼓を打ち鳴らす勇姿を再現している。

## 【榊原康政像】○

1584年「小牧・長久手の戦い」で、榊原康政が徳川軍へ攻め入ろうとする羽柴秀吉を非難する檄文を書いた。秀吉はこれに激怒し、康政の首を獲ったものには褒美を与えるという触れを出したといわれる。その檄文を記した高札を掲げる、静の姿ながら熱い思いをたぎらせる勇姿を再現している。

## 【井伊直政像】○

1600年「関ヶ原の戦い」で、井伊直政は、家康公四男忠吉公を補佐し、東軍の旧豊臣家家臣である福島軍が先鋒を任されていたのを、徳川方の手柄とするため「先陣抜け駆け」の突撃をした際の勇猛果敢な馬上の勇姿を再現している。

●令和2年3月22日披露 ○令和2年12月設置・披露予定



本多忠勝像



酒井忠次像



榊原康政像



井伊直政像

